

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902454		
法人名	有限会社 シャイニング		
事業所名	グループホーム ファミリー		
所在地	北海道旭川市永山1条1丁目2番38号 (電話) 0166-48-8100		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月3日	評価確定日	平成21年12月18日

【情報提供票より】(平成21年11月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年11月24日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	8人, 非常勤 2人, 常勤換算 5.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	20,000~27,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	150円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(11月4日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	3名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 73歳	最低	45歳	最高	86歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山循環器科クリニック
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

永山地区の幹線沿いに設立されている1ユニットのグループホームで、子育て支援センターを併設し、子供達とその家族との日常的な交流が行われていると共に「ヨガ教室」を開催するなど地元に着目した活動が継続的に行われています。また、ホームの「夏祭り」の案内を町内に配布したり、ボランティアが参加する敬老会の開催、地域の高齢者の介護、健康相談等も行い、ホームの持つ機能の地域への還元にも取り組んでいます。ホーム内は、天窓より採光を取り入れ明るく、細菌等を取り除く機器の配置などで感染症対策も実施され、常勤の看護師による健康管理や体調変化の早期発見、かかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるように支援されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地元の人々との交流促進について改善点が見出されましたが、子育て支援センターで子ども達やその母親と利用者の交流、地域の高齢者の介護、健康相談等地元の人々と連携した交流が実践されています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回開催を目安に開催され、主な議題は 利用者状況について ホーム主催の年間行事予定について 消防法改正によるスプリンクラー設置について 身体拘束廃止委員会の活動について SOSネットワーク活用報告について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 苦情申し立て公的機関の案内や苦情窓口担当者を明示し、家族や来訪者等が意見、苦情等を言い表せる機会を設けています。また、利用料を毎月持参して戴き、要望や不安な点など職員と話し合わせ、そこでの意見や要望を運営に反映する取組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会の廃品回収や行事参加、地域の高齢者の介護、健康相談等も行い地域との連携・交流に取り組んでいます。また、併設している子育て支援事業で子供達や母親、利用者との交流やホーム主催の「夏祭り」、「敬老会」等を開催して地元の人々、家族、学生ボランティア、子供達や母親に参加を呼びかけ交流に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげ職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に向けて引き継ぎや職員会議を通じて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の廃品回収や地域の高齢者の介護、健康相談等を行い地域との連携・交流に取り組んでいる。また、併設している子育て支援事業で子供達や母親、利用者との交流やホーム主催の「夏祭り」、「敬老会」等を開催して地元の人々、子供達や母親に参加を呼びかけ交流に取り組んでいる。		特筆すべき点として、子育て支援事業で子供達や母親との交流が行われていたり、「夏祭り」の開催や地域の高齢者の介護、健康相談等を行い地域との連携・交流に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に開催され、委員は利用者、家族、民生委員、町内会役員、知見を有する有識者、管理者・職員で構成され消防法改正など具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所及び管理者は、市担当者及び地域包括支援センターとの連携の重要性について理解している。また、市や包括支援センターの研修会に参加するなどケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、「便り」や一人ひとりの「近況報告」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態などを報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情申し立て公的機関の案内や苦情窓口担当者を明示し、家族や来訪者等が意見、苦情等を言い表せる機会を設けている。また、利用料を毎月持参して戴き、要望や不安な点など職員と話し合わせ、そこでの意見や要望を運営に反映する取り組みが行われている。</p>		<p>今後は、家族や来訪者がさらに意見や苦情等を表せるように「苦情箱」を設置することを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成するため、グループホーム協議会やケア研究会等の外部研修参加を奨励すると共に資格取得の支援も考慮している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会、ケア研究会で同業者との交流に努めている。また、SOSネットワーク構築や地域のケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と一緒に畑作業で野菜を育てたり、会話を楽しむ等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		<p>認知症ケアに有効とされるセンター方式が活用されています。今後は、介護記録等とその詳細を記述されていくことを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや意向の把握に努め散歩や買い物、子育て支援の子供達との交流など本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		今後は、介護記録の簡素化及び効率的記帳方式を検討されているので、時間をかけてよりよい改善をされていくことを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や散歩、買い物、医師・歯科医師の往診など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、看護職員と主治医との連携で適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、看護師、医師、家族を交え段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを尊重した声かけや記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、畑作業、歌唱など本人の希望に沿って支援している。また、給食会議を開催して嗜好の把握やメニューなど検討されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、準備や食事や後片付けをしている。また、年齢的に食事中のおしゃべりが厳禁の時代に生活していたので食事中の会話は無いが、食後はにぎやかに利用者同士会話を楽しんでいる様子が伺えた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、決めているが利用者の希望やタイミングに応じて入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら畑作業や野菜の収穫、食事の手伝いや後片付け、観葉植物の水遣りなどの役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、畑作業や買い物、散歩、旭山動物園見学やイチゴ狩り、公園散策等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、身体拘束廃止委員会を立ち上げ職員間で共有されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練が年2回実施され、消火設備も定期的に点検が実施されている。</p>		<p>事故の再発防止対策やヒヤリ・ハットの取り組みが良く実施されている。今後は、ヒヤリ・ハットの未だ起きていない事故のデータ分析を実施されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。廊下や居間などの共用空間には、観葉植物の配置や居室にはクリスマス人形が飾られ季節感を感じられる工夫がされている。また、細菌等を取り除く機器の配置などで感染症対策も実施されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具やテレビ、家族の写真が飾られ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。